

| | |
|----------------------|--|
| 重点取組名 | 里芋の新品種「愛媛農試V2号」の供給体制整備 |
| 普及活動担当 | 西条地方局 産業経済部 農政普及課 地域農業室 地域営農グループ |
| 主要な活動地域・対象農業者 | 西条地方局管内全域 里芋生産者847人 |
| 取組結果・成果 <取組みのねらい> | <p>1、新品種「愛媛農試V2号」の早期普及を進め、里芋の産地強化を図る。</p> <p>2、V2号の原種圃場（2圃場）及び増殖圃場（4圃場）の栽培管理指導を徹底し、次年度産種芋の確保に努めた結果、増殖用として、349戸の農家に約3トンの種芋を配布した。また、次年度試験販売用として、73a分の種芋を確保した。</p> <p>3、V2号の栽培指針作成のための実証圃を設置し、技術の構築に努めた。技術の精度を高めるために、次年度、実証箇所及び面積を拡大して調査し、その成果をもって栽培指針を作成する。</p> <p>4、V2号の評価を得るため、市場関係者及び量販店バイヤーに対して試食会及び販売PRを行い、知名度を高める活動を行った。更に、次年度には、消費者及び実需者の評価を確認するため、約30トンの試験販売を計画している。</p> |
| 連携機関、協議会等 | 四国中央地域営農団地推進協議会 |
| 取組の特徴や取組に際しての工夫 | <p>1、V2号の増殖に向けて 種芋の増殖は、JAうま特産部会が中心となり、また栽培技術の構築は、営農団地推進協議会野菜部が中心となり調査活動を行うなど生産者と関係者が一体となったV2号の拡大・産地力強化に向けて、活動を行った。</p> <p>2、V2号への切り替えに向けて 長年栽培してきた品種「女早生」から新品種「愛媛農試V2号」に切り替えるにあたり、生産者の混乱を招かないよう、新品種の特性やその有利性等を各種講習会や座談会等で周知した。</p> <p>3、産地力強化に向けて 産地の知名度を高めるために、えひめ愛フード推進機構の主催する展示会や商談会に積極的に参加し、旅館組合や加工業者及び食材取扱業者等に対するサンプル提供などPR活動を行った。</p> |
| 【参考】 | |